

# 双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校

1/24

第25号

文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

## 3年生 学年末テスト

3年生の学年末テストが、1月22日（水）から始まりました。3年生にとって中学校生活最後の定期テストです。満足いく結果を残そうと準備を進めてきたと思いますが、学習の成果をしっかりと発揮して有終の美を飾ってください。各教室をまわりましたが、どの教室でも3年生の皆さん、真剣な表情で解答していました。鉛筆を走らせる音だけが教室に響いていました。

3年生は、学年末テストが終わると入試本番を迎えます。私立高校入試、公立前期選抜そして公立中期選抜と続きます。大切なのは「凡事徹底」。当たり前のことを徹底して行うことです。また、以前にも話しましたが入試は団体戦です。不安な気持ちを誰もがもっています。不安な気持ちを払拭するためにはクラス、学年の団結力が必要です。クラス、学年の気持ちを一つにして、そして支え合って大きな壁を乗り越えてくれることを願っています。「冬来たりなば春遠からじ」、文字通り「春」をつかみとつてください。1年生、2年生の生徒と教職員は3年生の健闘を応援しています。

インフルエンザが流行しています。規則正しい生活を送って、体調管理も忘れないでください。何事もコンディションを整えなければ、いいパフォーマンスができません。

## 2年生 ポスターセッション

1月23日（木）に、2年生はポスターセッションを行いました。本校では、探究活動に力を入れています。探究活動は、自分で課題を見つけて仮説を立てることから始まります。その後、資料を集めたり、聞き取りをして仮説を検証していきます。そして、自分なりの答えを導き出していく。ポスターセッションは、探究活動の発表の場です。探究活動の内容をポスターに書いて発表します。ポスターセッションをすることで「活用」能力を高め、コミュニケーション力を伸ばすことをねらいにしています。また、ポスターセッションは聴く側も質問をしたり、自分の思いや考えを発表者に伝えたりすることが重要です。発表する側と聴く側が「対話」をすることでポスターセッションは盛り上がるのです。



今回のテーマは11月に多くの事業所の皆様にご協力をいただき実施したチャレンジ体験です。チャレンジ体験に行く前に各自が課題を考え、仮説を立てました。そして体験を通して探究したことをポスターにして発表しました。2年生の生徒は、観衆（聴く側）を前にして大きな声でわかりやすく伝えていました。観衆から出される質問にも丁寧に答えて、活発な意見交流や対話ができていました。1年生は観衆として参加してくれました。1年生は、先輩の発表を聞いたり、質問したりしてポスターセッションを体験しました。大きな声で質問していた1年生の生徒が多かったことが印象に残りました。2年生になって自分たちがポスターセッションをする時に今回の体験を役立ててください。また、御室小学校の5年生も参加してくれました。聴く側であり、いくつかのグループは、発表もしてくれました。



体育館はたいへん寒かったのですが、お世話になった事業所の方や学校運営協議会の方、PTAの方も来校され、ポスターセッションにご協力をいただきました。ありがとうございました。